

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

第70号

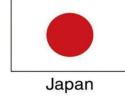
発行元



発行人 紺野 琢生



●Recycle&TOKYO TOKYO2020オリンピック・パラリンピック関連施設の資源回収業務に参加しました



令和三年七月二三日、一年延期、無観客開催と、過去に例を見ない状況の中で、TOKYO2020オリンピック・パラリンピック大会が開会しました。連日、アスリートたちの息をのむ競技が繰り広げられるその裏で、当社が加盟する東京都資源回収事業協同組合では、令和元年一二月二六日に締結した公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との業務委託契約に基づき、オリンピックスタジアム、選手村などの関連施設における資源回収業務を行いました。当

社もこの業務に作業員六名、登録車両六台で参加をしました。

準備段階の六月四日から徐々に回収が始まり、直前の七月中旬からは、週二〜三回のペースで、オリンピックスタジアムと選手村の古紙（主に段ボール）、びん、缶の回収を行いました。

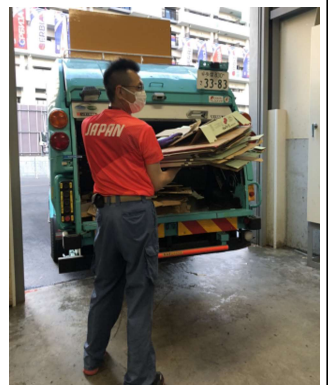
回収車両は、『Recycle & TOKYO』のステッカー及び車両通行証であるVA PPSを貼付し、パッカー



車には空であることを確認して封印シールをし、入構予約票であるMDSカード、回収場所や経路を記したセキュアロードパス、作業員は、アスリートたちも首から下げている個人認証票アクレディテーションカードを準備し、セキュリテイチェックが厳重な関連施設内へ入構していきま

す。関係者以外は立ち入ることの出来ない場所での作業は、華やかな舞台を陰で支えているという責任感と充実感、達成感を感じる事が出来ます。競技場の設営風景を垣間見ることが出来たり、世界各国のアスリートの方々とすれ違うこともあり、大会を間近で感じる事が出来ました。

回収作業は、パラリンピックが閉会する九月上旬まで続きます。夜間、早朝の作業も多く大変でしたが、最後まで事故怪我無く業務を遂行していきます。



また、分別ナビゲーターという観客のごみ分別ボランティアにも三名登録していましたが、こちらは残念ながら無観客で中止になってしまいました。緊急事態下、異例ずくめの大会運営に賛否様々ご意見あると思いますが、私たち自身感染リスクを抱えながらも、世界的なイベントが無事に開催出来る裏方を担えたことを誇りに、今後も地域のリサイクル推進のため、邁進してまいります。

また、分別ナビゲーターという観客のごみ分別ボランティアにも三名登録していましたが、こちらは残念ながら無観客で中止になってしまいました。

周年記念行事の際に行う予定でした表彰式を七月一五日の朝礼の場で行いました。勤続五年以上の社員七名と、退職後も再雇用で会社のために貢献して頂いている六名の功労者に表彰状と記念品を贈りました。

写真は、永年勤続二〇年の鈴木部長（右）と、創業以来の功労者である津田相談役（左）です。



●会社のリーフレットを新しくしました●

ロゴマーク、ホームページのリニューアルに合わせてリーフレットも新しくなりました。是非ご覧ください。

